

# 「令和元年度ふくしま『学びのスタンダード』推進事業」推進地域の取組

パイロット校名	埴町立埴中学校、埴小学校
推進協力校名	埴町立笹原小学校

## はなわはひとつ！ ～オールはなわでスタンダード推進～

学びのスタンダード推進事業最終年度となった令和元年度も、町学力向上推進事業との一体化を図り、町内全ての小・中学校で、『学びのスタンダード』推進事業に取り組んだ。

### 1 推進地域における「授業スタンダード」の活用について

- (1) 「授業スタンダード」の活用を学校課題研究の柱として位置付け、実践内容の重点化・焦点化を図った。
- ① 各教科の特質に応じた「見方・考え方」を明確にして単元を構成した。
  - ② 教師のコーディネート力向上のために「働きかけの例」や「問い返しの例」を参考にして、指導案に明記した。
  - ③ 授業での学習を「深い学び・新たな学び」へとつなげるために、「まとめ」と「振り返り」に重点を置いて授業を行った。

### 2 パイロット校の取組内容

#### (1) 埴中学校における「タテ持ち」の取組

数学科において「タテ持ち」とTT形式を組み合わせ、きめ細かい指導が行えるように指導体制を工夫した。

具体的には、以下のような指導体制をとった。

3学年	A	D	B	D		
2学年	A	C	B	C		
1学年	A	D	B	E	A	E
	1組		2組		3組	

※教員A・B・C・D・・・数学科教員

※教員E・・・音楽科教員

#### (2) 埴小学校における「教科担任制」の取組

理科・外国語活動において、教科担任制を実施した。具体的には、以下のような指導体制をとった。

教科等	担当教員	対象学年
理科	専科教員	3学年以上
外国語活動	専科教員	全学年

#### 【6学年の時間割例】

	月	火	水	木	金
1	国	国	国	算	理
2	音	書	総	学	算
3	外	理	算	外	図
4	算	家	理	総	図
5	体	体	社	社	道
6		社	算	ク	

#### (3) 推進教師の役割と具体的な取組

- ① 中学校では「タテ持ち」、小学校では「教科担任制」を実践した。
- ② 研修主任を兼任し、研修だよりを発行する等、校内研修の活性化に取り組んだ。

### 3 推進協力校【笹原小学校】の取組内容

「言語を手がかりに、主体的に読み、適切に表現する子どもを育てる授業づくり～国語科『読むこと』の説明的な文章の指導を通して～」という主題のもと、「授業スタンダード」を活用して授業改善に取り組んだ。

事前研究会では、板書計画を提示しながら話し合いを行った。「授業スタンダード」をもとに、授業の流れや指導の重点について明確にできるようにしてきた。事後研究会では、少人数グループによる KJ 法で授業の成果と課題を話し合った。

推進協力校として、10月に授業研究会を開催した。



### 4 3年間の取組から見た成果と課題

#### (1) 成果

- ① 「授業スタンダード」との関連を図った学校課題研究、授業研究を進めてきたことにより、主体的・対話的で深い学びを成立させるための有効な手立てが明確になった。  
～明確になった有効な手立て～
  - 教科の見方・考え方を明確にした単元構想
  - 教員の意図的なコーディネート
  - 「まとめ」と「振り返り」の充実
- ② 学年や教科を越えた授業研究が計画的に行われるようになった。
- ③ 教員相互の学び合いの手だてとして、日常的に互見授業が実施されるようになった。
- ④ 研究授業における事後研究会では、KJ法など、研究協議の方法を工夫するようになった。また、子どもの姿をもとにした話し合いが当たり前のように行われるようになった。
- ⑤ 推進教師の発行する研修だより等により、共通理解を図りながら共通実践が行われた。
- ⑥ 中学校「タテ持ち」、小学校「教科担任制」は、児童生徒の学力向上や教員の指導力向上に有効であることがわかった。

#### (2) 課題

- ① 主体的・対話的で深い学びを実現するためには、教師のコーディネート力をさらに向上させていく必要がある。
- ② 中学校「タテ持ち」、小学校「教科担任制」を継続して実施していくこと。特に、小学校教科担任制は、加配教員なしで実施していくことは難しいと思われる。
- ③ 児童生徒の「自己マネジメント力」を確立することは、一朝一夕には難しい。学校と家庭との連携・関連を図りながら、地道な取組を諦めずに続けていく必要がある。

# ま な び あ い



埴町立埴中学校 研修だより

No. 1

平成31年4月1日(月)

【研究主題】自分を拓くために学び続ける生徒の育成

【副主題】学びの習慣を身につける生徒の育成

埴中学校は、「学びのスタンダードパイロット校」として3年間の指定を受け、今年度3年目となります。

「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」に基づいた学習指導、教科の枠を越えた教科部会や互見授業の実施等により、教師の指導力向上と生徒の学力向上に励んでおります。

この研修だよりは、不定期ですが、月1回程度発行していきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

## 平成31年度現職教育計画について

◎教育計画参照

## 授業スタンダード

### 研究公開について

◎平成31年9月20日(金)午後

◎教科…3教科～4教科

※国・数・英・理・社：2～3教科 & 音・美・技・家・体：1教科

### 一人一研究授業について

◎県または県南教育事務所の先生方に来ていただき、一人一回研究授業を行う。

◎研究公開も1回にカウントする。

※研究公開の教科は、プレ授業もあるため2回となります。

◎教科を超えた互見授業を行う。

### 互見授業について

◎定期的に、気軽に、互見授業ができれば…

### 家庭学習について

#### ◎本校の家庭学習の定義

学校からの宿題（各教科の宿題・自主学習ノート）、塾、各自購入した教材等

#### ◎学校からの宿題に関する共通理解

- ①学年会（4月2日）で自主学習ノートについてざっくばらんに話し合う。
- ②教科部会（4月4日）で各教科の学年ごとの宿題について方向性を固める。  
※各教科の宿題を、自主学習として認めるかどうかも検討する。
- ③学年会（4月8日～12日）で各教科の宿題を参考にしながら、学年の自主学習の取組の方向性を検討する。
- ④研修委員会（4月15日～19日）で学校としての自主学習の取組の方向性を検討する。
- ⑤5月～本格的に自主学習ノートを活用していく。  
※4月については、学年・学級・教科裁量で、自主学習ノートに取り組む。

### 授業周辺部の取組について

- ◎朝の時間（8:05～8:20）…火・金：読書 水・木：朝学習（進め方は今後検討）  
※4月は、朝の時間は読書で統一（教科書・漫画・雑誌以外の本を準備させる）
- ◎東西しらかわスペリングコンテスト（英語1月）
- ◎基礎学力検定試験（英語12月）
- ◎放課後の学習会（1学期中間テスト前、基礎学力検定試験前）

### 自己マネジメント力の育成に向けて

- ◎トリニティノートの活用
- ◎ノーメディア day（埜町は毎週火曜日）の実施
- ◎実力テスト自己採点

### 教科部会について

- ◎4月4日（木）の研修会議終了後、実施
    - ・一人一研究授業の希望時期・学年・単元の検討
    - ・研究公開の授業者、学年、単元の検討
    - ・授業スタンダードの活用・授業と家庭学習のリンク等
- ※詳しくは、4日（木）の研修会議にてお知らせします。

### 学年会について

- ◎4月2日（火）
  - ・自主学習ノートについてざっくばらんに話し合う。
- ◎4月8日（月）～12日（金）
  - ・各教科の宿題を参考にしながら、学年の自主学習の取組の方向性を検討する。

先生方にアイデアをいただきながら、1年間、研修を進めていきたいと考えております。生徒も先生も「まなびあい」ができれば嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。

## 拡大教科部会よろしくお願ひします

本日2校時目の拡大理科部会を皮切りに、5月9日(木)4校時目は拡大音楽部会、6校時目は拡大数学部会を開催していきます。

このような教科部会を毎週の時間割に入れていくことは初めてのことなので、正直どうなるか分かりません。もしかしたら、今年度やってみただけど大変だからやめよう、ということになるかもしれません。でも、本当に大変なだけで何も収穫がない、ということはないと思っています。忙しい中ですが、減らすべき仕事と減らしてはいけない仕事があります。授業に対する思いや考えを伝え合ったり、新たな考えを知ったりすることは、教師として大切な仕事であり、人としても成長できる、とても大切なことなのではないでしょうか。若い先生もいればベテランの先生方もたくさんいる埴中学校は、学べる環境であり、拡大教科部会でそれができたら、貴重な財産になると思います。

時間割を見ると、この拡大教科部会を入れることで、時間割がいっぱいになってしまう先生もいますし、授業が入っている先生もいますので、無理せず開催していきましょう。集まれる人で、少しの時間でも良いので、先生方が、ざっくばらんに「埴中学校の生徒への希望」や「教師としての思い・悩み・うまくいったこと」などを話し合い、教師力を向上させる場にしていきませんか。

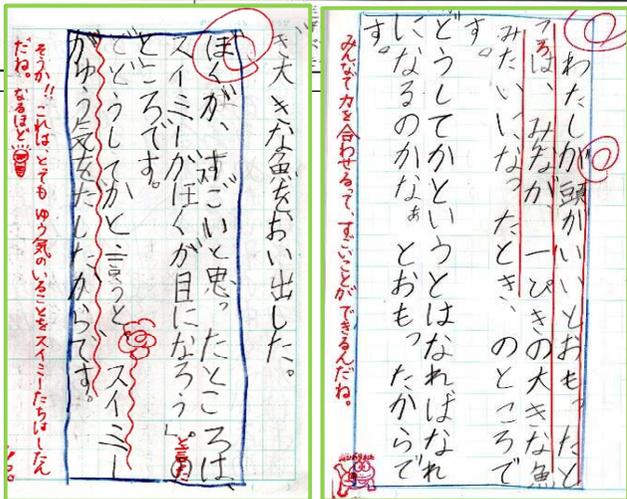
## 本年度の埴中の指導案形式ができました

本校は、学びのスタンダードパイロット校の指定を受けており、「授業スタンダード」を位置付けた形式の指導案を使っています。昨年度までのものを新たなバージョンに作りかえた本年度の指導案の形式を、先生方の机上にあげさせていただきました。データもありますので、指導案作成の際にご活用ください。なお、一人一研究授業の指導案については、指導案のデータを指定のフォルダに保存していただく形になりますのでよろしくお願ひします。



第2学年2組 国語科学習授業案 お話を読んで、かんそうを書こう「スイミー」		6月
1 単元で育む資質・能力		
生きて働く「知識・技能」	「思考力・判断力・表現力等」	「主体的に学習に取り組む態度」
場面の様子に着目し、登場人物の行動の理由や気持ちを考えること、様子を表す言葉を使って、文を書くこと。	人物の行動や場面の様子などについて、想像を広げながら読み、自分の感想をまとめること。	物語に興味をもち、おもしろいと思ったことを中心に、感想を書こうとする態度。
2 単元計画及び働かせたい見方・考え方		
本単元につながる既習の単元	第2学年 おはなしを音読しよう「ふきのとう」	見方・考え方
目標	主な学習内容	
一次 学習の見通しをもつ	① 「スイミー」を読んであらすじをつかみ、初発の感想をもつ。	人物の行動や場面の様子を読む 文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもつ 行動・会話
二次 物語の設定や登場人物の行動や場面の様子を読み取り、感想を書く。	②③物語の設定を読みあらすじをとらえ、場面分けをする。 登場人物・スイミー、小さな魚の兄弟たち、まぐろ 場・広い海のどこか 文章構成・「はじめ」「中」「おわり」に分ける。 事件・スイミーの兄弟が、まぐろに飲まれる。 山場・知恵を出して、大きな魚を追い出す。 ④スイミーについて読み取る。 ⑤まぐろにおそわれたスイミー達の行動を読み取り、感想を書く。 スイミー達に、なにがおこったのかな。 さし絵や登場人物の行動を抜き出し、想像する。 ⑥スイミーが見たものを想像しながら読み、感想を書く。 スイミーは、どんなおもしろいものを見つけたのかな。 スイミーが見たものを抜き出し、想像する。 海には、すばらしいものがいっぱい。 おもしろいもの、って何だろう。 ゼリーのようなくらげって、ぶにぶにしてるのかな。 水中ブルドーザーみたいないせびほ、なんだか強そうだね。 見たこともない魚たち。 ドロップみたいな岩って、きれいだろうなあ。 ⑦⑧兄弟を見つけたスイミーの言動を読み取り、感想を書く。 ⑨大きな魚を追い出したスイミー達の言動を読み取り、感想を書く。	
三次 学習したことを生かし、読書の世界を広げる	⑩⑪レオ・レオ二の他の作品を読み、感想を書く。 ぼくが読んだ「さかなはさかな」では、さかなが聞いた話をそっくりするところがたのしかったです。 どうしてかという、さかながそっくりした生きものが、とてもおもしろかったからです。	

第2学年2組 国語科学習授業案 じんぶつと自分をくらべて読もう「わたしはおねえさん」		11月
1 単元で育む資質・能力		
生きて働く「知識・技能」	「思考力・判断力・表現力等」	「主体的に学習に取り組む態度」
文の中における主述の関係に注意して、登場人物の行動や心情を読むこと。	登場人物の行動を具体的に想像し、自分の経験と結び付けて読む。 人物の行動や場面の様子などのあらすじをまとめること。	登場人物と自分を比べたり、重なりながら興味をもって読み、あらすじを紹介する態度。
2 単元計画及び働かせたい見方・考え方		
本単元につながる既習の単元	第2学年 おはなしを音読しよう「ふきのとう」 お話を読んでかんそうを書こう「スイミー」 音読げきをしよう「お手紙」	見方・考え方
目標	主な学習内容	
一次（1時間） 学習の見通しをもつ。	① 「わたしはおねえさん」を読み、物語の内容を大まかにつかみ、初発の感想を書く。 ② あらすじをとらえ、物語の設定を読む。 人物…すみれちゃん、かりんちゃん。 時、場…十月の日曜日。すみれちゃんの部屋。 構成…「はじめ」「中」「おわり」に分ける。 事件…すみれちゃんのノートが落書きされる。 山場…落書きがかわいく見えた。 ③④ すみれちゃんの人物像や行動について読み取る。 すみれちゃんの理想とするお姉さん像についてもとらえる。 ・優しい 元気 ちょっぴりえらい がんばる えらい など ⑤⑥ すみれちゃんの気持ちを自分と比べながら読む。 半分ぐらいなきそうで、おこりそうって、どういうことかな。 どうして、じっと、ずっと見ていたのかな。 頭がごちゃごちゃして、何も考えなくなっちゃったから。 どうしてそんなことをしたのか、考えていたから。 おこる元気も、わらう元気もなくなっちゃったから。 ⑦ すみれちゃんの気持ちを読み取る。（本時） どうして、ぐちゃぐちゃの絵を消さなかったのかな。 ・じっとずっと見ていたら、許せたから。 ・ぐちゃぐちゃだけど、何だかコスモスに見えてきたから。 ・かりんちゃんがかわいく思えたから、絵もかわいく見えた。 ・本当のおねえさんになったから、「いいよ」って思えた。 ・2さいのかりんちゃんがいっしょうけんめいかいたから。 すみれちゃんが本当のおねえさんになったから。 ⑧⑨⑩ 学習してきたことを生かして、「わたしはおねえさん」の紹介カードを書く。	
二次（6時間） 物語の設定や登場人物の行動や気持ちを、自分と比べながら読む。	⑦ すみれちゃんの気持ちを読み取る。（本時） どうして、ぐちゃぐちゃの絵を消さなかったのかな。 ・じっとずっと見ていたら、許せたから。 ・ぐちゃぐちゃだけど、何だかコスモスに見えてきたから。 ・かりんちゃんがかわいく思えたから、絵もかわいく見えた。 ・本当のおねえさんになったから、「いいよ」って思えた。 ・2さいのかりんちゃんがいっしょうけんめいかいたから。 すみれちゃんが本当のおねえさんになったから。 ⑧⑨⑩ 学習してきたことを生かして、「わたしはおねえさん」の紹介カードを書く。	自分の経験と比べながら読み、感想をもつ。 登場人物の行動や心情を自分の経験と比較して読む。 【並行読書】 同世代の主人公が登場する本を読み、楽しみを味わい、自分との関わりを考えながら読む。
三次（3時間） あらすじを紹介するための紹介カードを作る。	○本の題名 作者名 登場人物 ○物語のあらすじ ○一番に残っていること ○自分と比べて思ったこと など	
本単元からつながる今後の単元	第2学年 お話をそっくりしながら読もう「スーホの白い馬」 第3学年 おもしろいと思うところを、しょうかいしよう「三年とうげ」	想像を広げて読む



育てたい見方・考え方ははっきりしていたので、そのために何をするか、効果的な手立てをとることができた。毎時間まとめを書くことを積み上げてきて、どの児童も、自分の感想を素直に表現できるようになってきている。

